

## 安全データシート



## 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
担当者 : 認証標準物質担当  
電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009  
緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2021年4月23日  
改正日 : -  
整理番号 : 9002001

化学品の名称 : 標準物質 NMIJ RM 9002-a スズキ魚肉粉末  
(Japanese Seabass Tissue)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、スズキ魚肉粉末試料であり、標準物質調製や技能試験試料に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。  
本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 : 分類できない  
GHSラベル要素 : -  
注意喚起語 : -  
危険有害性情報 : -  
注意書き : [安全対策]  
通常の見取りでは危険性は低いが、保護マスクや保護手袋を着用し、  
粉塵の吸入を避けること。  
[応急措置]  
大量に粉塵を吸入した場合、呼吸器の医師の診断を受ける。  
眼に入った場合、大量の水で洗い、必要に応じて医師の診断を受ける。  
[保管]  
2°C から 10°C で遮光して保存すること。  
開封後はできるだけ密封した状態で保存すること。  
施錠して保管すること。  
[廃棄]  
本標準物質は第1種特定化学物質に指定されている物質を含むため、  
化審法に従って取り扱い、廃掃法を遵守して保管や廃棄を行うこと。  
上記に記載が無い危険有害性は分類対象外又は分類できない。

その他の有害性情報 : 大量に粉塵を吸入した場合、呼吸器への蓄積による障害の恐れ。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: スズキ魚肉粉末
CAS 番号	: -
含有量	: 100 %
化学式又は構造式	: -
分子量	: -
官報公示整理番号 (化審法)	: -
官報公示整理番号 (安衛法)	: -

ただし以下の成分を含む。

成分 (1)	: ポリ塩化ビフェニル
別名	ポリクロロビフェニル
CAS 番号	: 1336-36-3
含有量	: 約 28 µg/kg
化学式又は構造式	: $C_{12}H_{10-n}Cl_n$
分子量	: -
官報公示整理番号 (化審法)	: 1-306
官報公示整理番号 (安衛法)	: 公表
成分 (2)	: 1, 1, 1-トリクロロ-2, 2-ビス[4-クロロフェニル]エタン
別名	4,4'-DDT
CAS 番号	: 50-29-3
含有量	: 約 2 µg/kg
化学式又は構造式	: $C_{14}H_9Cl_5$
分子量	: 354.49
官報公示整理番号 (化審法)	: 4-910
官報公示整理番号 (安衛法)	: 公表
成分 (3)	: 1, 1-ジクロロ-2, 2-ビス[4-クロロフェニル]エチレン
別名	4,4'-DDE
CAS 番号	: 72-55-9
含有量	: 約 18 µg/kg
化学式又は構造式	: $C_{14}H_8Cl_4$
分子量	: 318.03
官報公示整理番号 (化審法)	: -
官報公示整理番号 (安衛法)	: -
成分 (4)	: 1, 1-ジクロロ-2, 2-ビス[4-クロロフェニル]エタン
別名	4,4'-DDD
CAS 番号	: 72-54-8
含有量	: 約 4 µg/kg
化学式又は構造式	: $C_{14}H_{10}Cl_4$
分子量	: 320.05

官報公示整理番号（化審法） : -  
 官報公示整理番号（安衛法） : -

成分（5） : (1 $\alpha$ , 2 $\beta$ , 2 $\alpha$ , 3 $\beta$ , 6 $\beta$ , 6 $\alpha$ , 7 $\beta$ , 7 $\alpha$ )-3, 4, 5, 6, 9, 9-ヘキサクロロ-1a, 2, 2a, 3, 6, 6a, 7, 7a-オクタヒドロ-2, 7:3, 6-ジメタノナフト[2, 3-b]オキシレン

別名 : デイルドリン

CAS 番号 : 60-57-1

含有量 : 約 2  $\mu$ g/kg

化学式又は構造式 : C<sub>12</sub>H<sub>8</sub>Cl<sub>6</sub>O

分子量 : 380.91

官報公示整理番号（化審法） : 4-299

官報公示整理番号（安衛法） : 公表

成分（6） : (1 $\alpha$ , 2 $\beta$ , 3 $\alpha$ , 3 $\alpha$ , 4 $\beta$ , 7 $\beta$ , 7 $\alpha$ )-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 8-ノナクロロ-2, 3, 3a, 4, 7, 7a-ヘキサヒドロ-4, 7-メタノ-1H-インデン

別名 : trans-ノナクロル

CAS 番号 : 39765-80-5

含有量 : 約 6  $\mu$ g/kg

化学式又は構造式 : C<sub>10</sub>H<sub>5</sub>Cl<sub>9</sub>

分子量 : 444.227

官報公示整理番号（化審法） : -

官報公示整理番号（安衛法） : -

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 清浄な水で十分に洗い流す。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。医師に連絡する。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : 救助者は個人用保護具を着用する。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 周辺火災適応消火剤

使ってはならない消火剤 : データなし

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 皮膚、眼及び個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、

環境に対する注意事項	: ガスを吸入したりしないようにする。 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 漏出した製品は、ウエス、雑巾又は土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	: 取扱いは、換気のよい場所で行う。
(局所排気・全体換気等)	: 容器の転倒、落下、引きずり又は衝撃を与え等の粗暴な扱いをしない。
安全取扱注意事項	: 粉塵の吸入を避ける。環境への流出を避けること。
衛生対策	: 産業衛生及び安全の基準に基づいて取り扱うこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

### 保管

安全な保管条件	: 2℃ から 10℃ で遮光して保存すること。 開封後はできるだけ密封した状態で保存すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、付属書を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

ポリ塩化ビフェニル 0.1 mg/m<sup>3</sup>

### 許容濃度(ポリ塩化ビフェニル)

ACGIH TLV-TWA	: 1 mg/m <sup>3</sup> (皮、Cl 42%) 0.5 mg/m <sup>3</sup> (皮、Cl 54%)
---------------	--

日本産業衛生学会勧告値 : 0.01 mg/m<sup>3</sup>(皮) 暫定値

OSHA PEL TWA : データなし

### 許容濃度(4,4'-DDT)

ACGIH TLV-TWA : 1 mg/m<sup>3</sup>

日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない

OSHA PEL TWA : データなし

### 許容濃度(ディルドリン)

ACGIH TLV-TWA : 0.25 mg/m<sup>3</sup> (経皮吸収性あり)

日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない

OSHA PEL TWA : データなし

### 設備対策

換気・排気 : 局所排気装置又は全体換気装置。

安全管理・ガスの検知 : -

貯蔵上の注意	: 密封。
保護具	
呼吸用保護具	: 防じんマスク
手の保護具	: 保護手袋
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

・物理状態	: 粉末
・色	: 褐色
・臭い	: データなし
・融点/凝固点	: データなし
・沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
・可燃性	: データなし
・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
・引火点	: データなし
・自然発火点	: データなし
・pH	: データなし
・動粘性率	: データなし
・溶解度	: 水に溶解する可能性あり
・n-オクタノール/水分配係数	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・密度及び/又は相対密度	: データなし
・相対ガス密度	: データなし
・粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、湿気
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	: (ポリ塩化ビフェニル) マウス 経口 LC <sub>50</sub> : 1.9 g/kg (4, 4'-DDT) マウス 経口 LC <sub>50</sub> : 135 mg/kg (4, 4'-DDE) マウス 経口 LC <sub>50</sub> : 880 mg/kg (4, 4'-DDD) マウス 経口 LC <sub>50</sub> : > 4000 mg/kg (ディルドリン) マウス 経口 LC <sub>50</sub> : 38 mg/kg ヒト 経口 LD <sub>50</sub> : 5 mg/kg
------	---

	ラット 吸入 LC <sub>50</sub> : 0.013 mg/L
	ラット 経皮 LD <sub>50</sub> : 50 mg/kg (計算値)
	(trans-ノナクロル) ラット 経口 LD <sub>50</sub> : 500 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 刺激する可能性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 多量に粉塵を吸収した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となる。
生殖細胞変異原性(変異原性)	: (4, 4'-DDT) ・染色体異常; ラット (腹腔内) ; 陽性 ・染色体異常; マウス (腹腔内・経口) ; 陽性
発がん性	: (ポリ塩化ビフェニル) ・LARC ; グループ2A ・日本産業衛生学会 ; 第2群A (4, 4'-DDT) ・LARC ; グループ2B ・ACGIH ; A3 ・日本産業衛生学会 ; 第2群B
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
	※参考情報
	<ポリ塩化ビフェニル>
	・分解度 : 13 %(By BOD)
	・濃縮性 (倍率) : コイ 1,120~10,300倍 (6.6 µg/L) コイ 600~160,00倍 (2.2 µg/L)
	・魚毒性 : ヒメダカ LC <sub>50</sub> /48H : 2.2 mg/L
	<4,4'-DDT>
	・分解度 : 0 %(By BOD)
	・濃縮性 (倍率) : コイ 5,100~24,400倍 (1 µg/L) コイ 6,080~25,900倍 (0.1 µg/L)
	・魚毒性 : ヒメダカ LC <sub>50</sub> /48H : 33.5 µg/L
	<ディルドリン>
	・分解度 : 0 %(By BOD)
	・魚毒性 : ヒメダカ LC <sub>50</sub> /48H : 27.5 mg/L、 甲殻類 (ブラウンシュリンプ) LC <sub>50</sub> /96H : 0.4 µg/L
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし

土壌中への移動性 : データなし  
オゾン層への有害性 : データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共  
団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知  
の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連番号 : 該当なし  
品名 : -  
国連分類 : -  
容器等級 : -

#### 国内規制

陸上輸送 : 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法、港則法に従う。  
航空輸送 : 航空法に従う。

### 15. 適用法令

◇化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律  
・第1種特定化学物質

### 16. その他の情報

#### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅して  
いるわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取  
扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。